

# 自治会の区域における「歴史・文化・自然」に関する調査について

## 1 実施概要

- 目的：各自治会で大切にされている歴史・文化・自然やその保存・活用の取組の実態、今後の取組意向などの把握を通じて、町民等が共感・共有し、協働で歴史・文化・自然を活かしたまちづくりに取り組むことができる計画を作成するための検討資料とする。
- 対象：町内63自治会の自治会長  
※自治会長宛で依頼した上で、他に適任者（歴史・文化に詳しい人）がいる場合の委任や、役員・自治会住民との相談の上での回答も可とした。
- 実施方法：（配布）自治会長への文書配布時に配布（郵送）  
（回収）返信用封筒での郵送又は担当課（生涯教育課、先人記念館、温泉公民館）への持参
- 実施期間：令和3年9月22日～令和3年10月22日
- 設問：1. 自治会の区域における歴史・文化・自然について
  - ① 大切に思う歴史・文化・自然
  - ② 自治会を代表する歴史・文化・自然とその活用意向
  - ③ これまでの歴史・文化・自然の保存・活用の取組
  - ④ 今後の歴史・文化・自然の保存・活用の取組意向と取組にあたっての課題2. 新温泉町における、今後の歴史・文化・自然を活かしたまちづくりについて
  - ⑤ 歴史・文化・自然を活かしたまちづくりに係る各施策の重要度
  - ⑥ 新温泉町や各自治会における歴史・文化・自然を活かしたまちづくりに対する自由意見
- 回収結果：配布数 63票  
回収数 63票  
回収率 100%

## 2 調査結果の概要

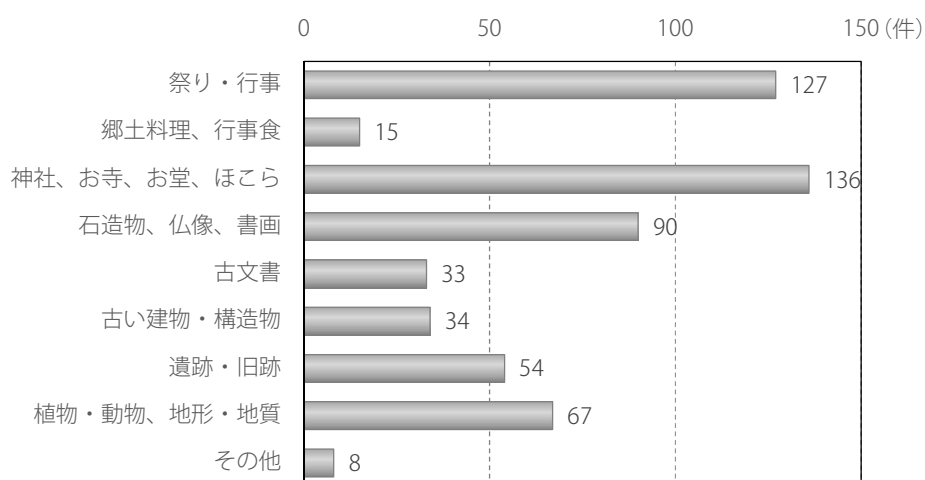
### 1 自治会の区域における歴史・文化・自然について

設問①	新温泉町では、これまで各自治会の区域における歴史・文化・自然について、 <u>別紙1</u> のとおり把握してきました。 あなたの自治会の区域における歴史・文化・自然について、地域の皆さんが大切に思い、将来世代に伝えたいと思うものを、次の分類ごとに、いくつでもあげてください。
-----	---

【回答自治会数：61自治会（97%）、「特になし」又は無回答：2自治会（3%）】

#### ● 大切に思う歴史・文化・自然

- ・61自治会から合計564件の歴史・文化・自然があげられた。
- ・類型別では、「神社、お寺、お堂、ほこら」が136件と最も多く、「祭り・行事」が127件、「石造物、仏像、絵画」が90件と続いている。（図①）



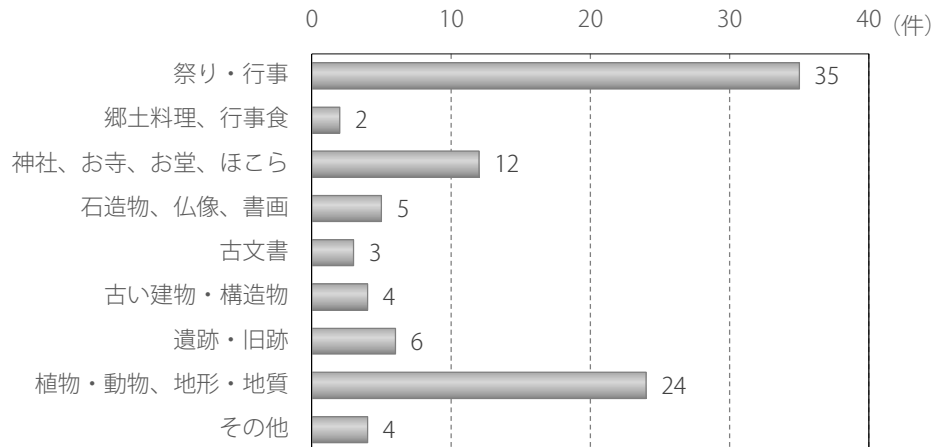
図① 大切に思う歴史・文化・自然の類型別の回答数

設問②	設問①であげた歴史・文化・自然のうち、あなたの自治会を代表すると思うもの（最大3つまで）をお教えてください。また、それぞれの今後のまちづくりへの活用について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。
-----	--

【回答自治会数：47自治会（75%）、「特になし」又は無回答：16自治会（25%）】

● 自治会を代表する歴史・文化・自然

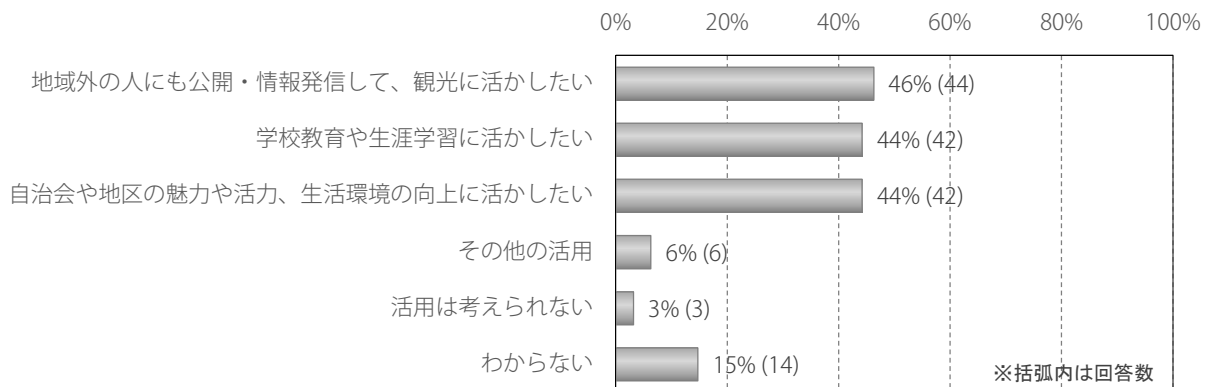
- ・47自治会から合計95件の歴史・文化・自然があげられた。
- ・類型別では、「祭り・行事」が35件と最も多く、「植物・動物、地形・地質」が24件、「神社、お寺、お堂、ほこら」が12件と続いている。（図②-1）
- ・民俗や自然が豊かであるという但馬地域の特徴を反映するとともに、本町の各自治会においても、歴史・文化・自然のなかでも、特に民俗や自然の重要性が認識されていることがうかがえる。



図②-1 自治会を代表する歴史・文化・自然の類型別の回答数

● 自治会を代表すると思う歴史・文化・自然のまちづくりへの活用の意向

- ・活用意向では、「地域外の人にも公開・情報発信して、観光に活かしたい」、「学校教育や生涯学習に活かしたい」、「自治会や地区の魅力や活力、生活環境の向上に活かしたい」がいずれも40~50%と多くの自治会で回答され、「活用は考えられない」は3件（3%）で、全体的に活用意向が高い。（図②-2）
- ・「その他」の意見としては、「他の北前船寄港地との交流」、「マリンスポーツ等の体験イベントの開催」、「新湯治」という観光活用、「大学連携：芸術文化観光大学の教材としての活用」という教育活用、「農村環境の持続」、「住民の心の支え」という生活環境の向上といった、上記3項目を具体化した意見であった。
- ・歴史・文化・自然の類型別の活用意向では、「祭り・行事」は、生活環境の向上への活用が多く挙げられ、「植物・動物、地形・地質」は、観光への活用が多く挙げられる傾向がみられる。また、「祭り・行事」のなかには、観光への活用や教育への活用の意向があるものも見られる。これらの歴史・文化・自然については、特に地域外の人々との連携や、担い手育成のための学校教育との連携による保存・継承の取組を推進していくことが考えられる。（表②）



図②-2 自治会を代表すると思う歴史・文化・自然の活用意向 (n=95)

表② 自治会を代表すると思う歴史・文化・自然の類型別の活用意向

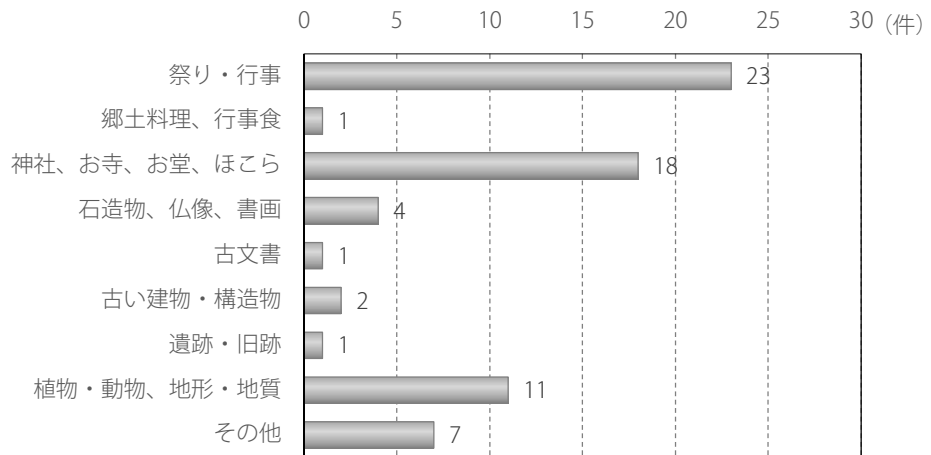
類型	母数	地域外の人にも公開・情報発信して、観光に活かしたい	学校教育や生涯学習に活かしたい	自治会や地区の魅力や活力、生活環境の向上に活かしたい	その他の活用	活用は考えられない	わからない
祭り・行事	35	13 (37%)	11 (31%)	23 (66%)	0 (0%)	1 (3%)	3 (9%)
郷土料理、行事食	2	2 (100%)	1 (50%)	1 (50%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
神社、お寺、お堂、ほこら	12	3 (25%)	1 (8%)	1 (8%)	1 (8%)	0 (0%)	8 (67%)
石造物、仏像、書画	5	3 (60%)	3 (60%)	2 (40%)	1 (20%)	0 (0%)	0 (0%)
古文書	3	0 (0%)	1 (33%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (33%)	1 (33%)
古い建物・構造物	4	2 (50%)	4 (100%)	1 (25%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
遺跡・旧跡	6	4 (67%)	4 (67%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (17%)	0 (0%)
植物・動物、地形・地質	24	15 (63%)	15 (63%)	12 (50%)	3 (13%)	0 (0%)	1 (4%)
その他	4	2 (50%)	2 (50%)	2 (50%)	1 (25%)	0 (0%)	1 (25%)

設問③	あなたの自治会で、これまで（現在を含む）保存や活用に取り組んできた歴史・文化・自然があれば、取組の内容、取組の主体（保存会や連携して取り組んでいる自治会・団体・大学などを含む）をお教えてください。
-----	--

【回答自治会数：39自治会（62%）、「特になし」又は無回答：24自治会（38%）】

● これまで保存や活用に取り組んできた歴史・文化・自然

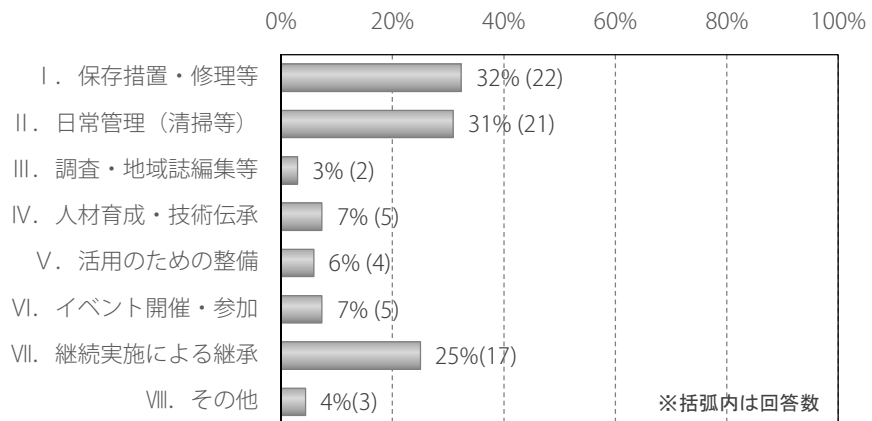
- ・39自治会から合計68件の歴史・文化・自然があげられた。
- ・類型別では、「祭り・行事」が23件と最も多く、「神社、お寺、お堂、ほこら」が18件、「植物・動物、地形・地質」が11件と続く。（図③-1）



図③-1 これまで保存や活用に取り組んできた歴史・文化・自然

● これまでの保存や活用の取組内容

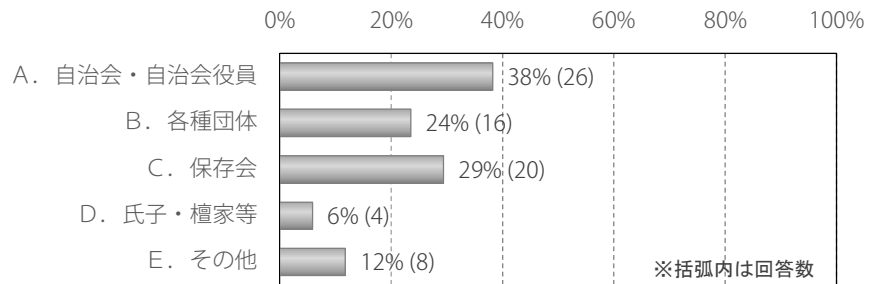
- ・「これまで保存や活用に取り組んできた歴史・文化・自然」68件について、合計79件の取組内容があげられた。
- ・取組内容を類型化して整理すると、「Ⅰ. 保存措置・修理等」が22件（32%）と最も多く、「Ⅱ. 日常管理（清掃等）」が21件（31%）、「Ⅶ. 継続実施による継承」が17件（25%）と続く。（図③-2）
- ・歴史・文化・自然の類型別では、「祭り・行事」（n=23）は、「Ⅶ. 継続実施による継承」が15件（65%：類型内での割合。以下、本項目について同様。）、「Ⅳ. 人材育成・技術伝承」が4件（17%）と続く。一方、「神社、お寺、お堂、ほこら」（n=18）は、「Ⅰ. 保存措置・修理等」が12件（67%）、「Ⅱ. 日常管理（清掃等）」が7件（39%）と多く、「植物・動物、地形・地質」（n=11）は、「Ⅱ. 日常管理（清掃等）」が9件（82%）と多い。



図③-2 これまでの保存や活用の取組内容（n=68）

● これまでの保存や活用の取組主体

- ・「これまで保存や活用に取り組んできた歴史・文化・自然」68件に対して、合計74件の取組主体があげられた（無回答3件）。
- ・取組主体を類型化して整理すると、「A. 区・区役員」が26件（38%）と最も多く、「C. 保存会」が20件（29%）、消防団や老人会、子ども会などの「B. 各種団体」が16件（24%）と続いている。「F. その他」としては、諸寄活性化委員会等、地権者等の関係者、大学、行政などである。（図③-3）
- ・自治会や自治会内の組織（消防団や老人会、子ども会等）に加え、民俗芸能や自然資源の保存会が多数活動しており、それらが歴史・文化・自然の保存・活用に大きな役割を担ってきたことが分かる。



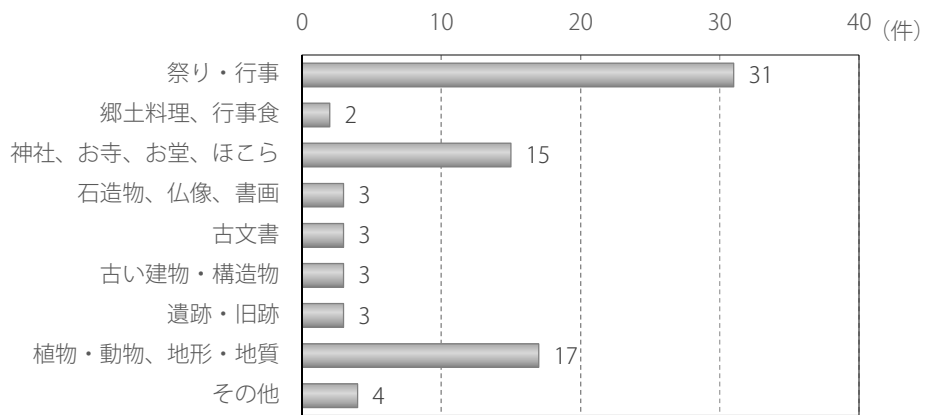
図③-3 これまでの保存や活用の取組の取組主体（n=65）

設問④	あなたの自治会で、今後、重点的に保存（次の世代への継承）や活用に取り組みたい歴史・文化・自然（最大3つまで）と、取り組みたい内容とその理由をお教えてください。また、その取組にあたって、課題になるとと思われることについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。
-----	---

【回答自治会数：42自治会（67%）、「特になし」又は無回答：21自治会（33%）】

● 今後、重点的に保存や活用に取り組みたい歴史・文化・自然

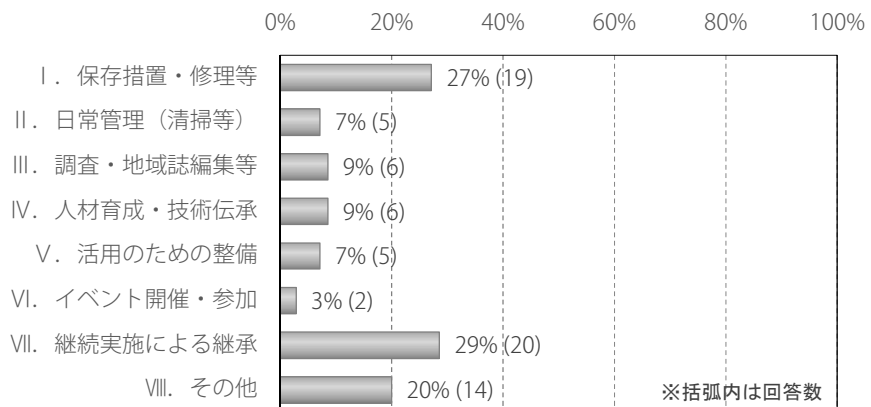
- ・42自治会から合計81件の歴史・文化・自然があげられた。
- ・類型別では、「祭り・行事」が31件と最も多く、「植物・動物、地形・地質」が17件、「神社、お寺、お堂、ほこら」が15件と続く。（図④-1）
- ・自治会を代表すると思う歴史・文化・自然（設問②）と同様の傾向を示しており、自治会を代表すると思う「祭り・行事」、「神社、お寺、お堂、ほこら」、「植物・動物、地形・地質」に対する保存・活用の取組を重点的に実施したいという意向が示されている。



図④-1 今後、重点的に保存や活用に取り組みたい歴史・文化・自然

● 今後、取り組みたい内容と理由

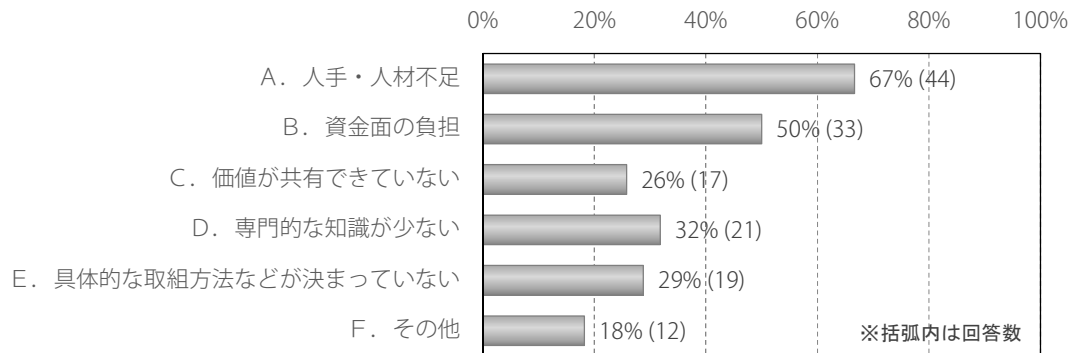
- ・「今後、重点的に保存や活用に取り組みたい歴史・文化・自然」81件のうち、取り組みたい内容が無回答の11件を除く70件について、合計77件の取組内容があげられた。
- ・取組意向の内容を類型化して整理すると、「VII. 継続実施による継承」が20件（29%）と最も多く、「I. 保存措置・修理等」が19件（27%）と続いている。（図④-2）
- ・歴史・文化・自然の類型別では、「祭り・行事」（n=26）は、「VII. 継続実施による継承」が19件（73%：類型内での割合。以下、本項目について同様。）、「IV. 人材育成・技術伝承」が6件（22%）と続く。一方、「神社、お寺、お堂、ほこら」（n=15）及び「植物・動物、地形・地質」（n=13）は、「I. 保存措置・修理等」が、それぞれ10件（67%）、5件（38%）と最も多くなっている。
- ・取り組みたい理由については、老朽化や破損の状況、歴史・文化・自然の価値などの記載が中心であった。
- ・現状を維持するための取組が大半を示すが、諸寄区のように活用に向けた具体的な取組をイメージしている自治会もみられ、優先的・重点的な施策展開が求められる。



図④-2 今後、取り組みたい内容（n=70）

● 今後の取組にあたっての課題

- ・「今後、重点的に保存や活用に取り組みたい歴史・文化・自然」で取組内容の回答があった歴史・文化・自然 70 件のうち、回答なしの 4 件を除く 66 件について、課題の回答が得られた。回答された課題の総数は 146 であった。
- ・全体傾向としては、「A. 人手・人材不足」が 44 件 (67%) と最も多く、「B. 資金面の負担」が 33 件 (50%) と続いている (図④-3)。  
 「その他」は、区民の高齢化やそれに伴う補修費負担の増加、PR による発信の必要性、古文書解読のための専門家の協力の必要性など、各課題項目の内容を具体化した課題が多くあげられたが、調査や活用に向けた取組を実施したいが「地権者が不明」という課題も 1 件あげられており、今後、世代交代が進むなかで、このような課題が増加することが予想される。
- ・歴史・文化・自然の種類別では、「祭り・行事」は、その継承の取組や技術伝承の取組にあたって、「人手・人材不足」が課題として多くあげられている。一方、「神社、お寺、お堂、ほこら」では、保存措置・修理等を行うための「資金面の負担」が課題として多くあげられている。(表④-1)
- ・資金面の負担よりも人手・人材の不足が多くあげられており、担い手育成・確保が喫緊の課題となっていることが分かる。



図④-3 今後の取組にあたっての課題の回答傾向 (n=66)



表④-1 今後の取組にあたっての課題（歴史・文化・自然の種類及び取組意向の内容別の総括表）

類型	取組意向の内容		取組にあたっての課題						
	回答数	回答数	A. 人手・人 材不足	B. 資金面の 負担	C. 価値が共 有できて いない	D. 専門的な 知識が少 ない	E. 具体的な 取組方法 などが決 まってい ない	F. その他	
祭り・行事	31	I. 保存措置・修理等	1	1					
		IV. 人材育成・技術伝承	6	6	3	2	2	2	
		VII. 継続実施による継承	18	16	4	1	2	4	
		VIII. その他	1	1	1				
		無回答(5)						無回答(1)	
郷土料理、 行事食	2	VII. 継続実施による継承	1						
		VIII. その他	1	1	1				
		無回答(0)						無回答(1)	
神社、お寺、 お堂、ほこら	15	I. 保存措置・修理等	10	4	10	2	4	2	1
		II. 日常管理(清掃等)	2	1	2		1	1	
		III. 調査・地域誌編集等	1				1		
		V. 活用のための整備	2	1	1			1	1
		無回答(0)							無回答(0)
石造物、 仏像、書画	3	I. 保存措置・修理等	1		1		1	1	
		VIII. その他	1			1	1	1	
		無回答(1)						無回答(0)	
古文書	3	I. 保存措置・修理等	1		1	1	1	1	
		III. 調査・地域誌編集等	2	1			1	2	
		無回答(0)						無回答(0)	
古い建物、 構造物	3	II. 日常管理(清掃等)	1						
		III. 調査・地域誌編集等	1			1			
		無回答(1)						無回答(1)	
遺跡・旧跡	3	II. 日常管理(清掃等)	1	1				1	
		V. 活用のための整備	1	1	1				
		VIII. その他	1	1	1	1	1	1	
		無回答(0)						無回答(0)	
植物・動物、 地形・地質	17	I. 保存措置・修理等	5	1	2	1	1	1	2
		II. 日常管理(清掃等)	1	1		1			
		III. 調査・地域誌編集等	1	1		1	1		1
		V. 活用のための整備	2	2	1	1		1	
		VIII. その他	4	1	1	3	2	2	
		無回答(4)							無回答(1)
その他	4	I. 保存措置・修理等	1	1	1		1	1	
		III. 調査・地域誌編集等	1			1	1		
		VI. イベント開催・参加	1	1	1			1	
		VIII. その他	2	1	1				1
		無回答(0)							無回答(0)
計	81	(無回答:11)	70	44	33	17	21	19	12

## 設問⑤

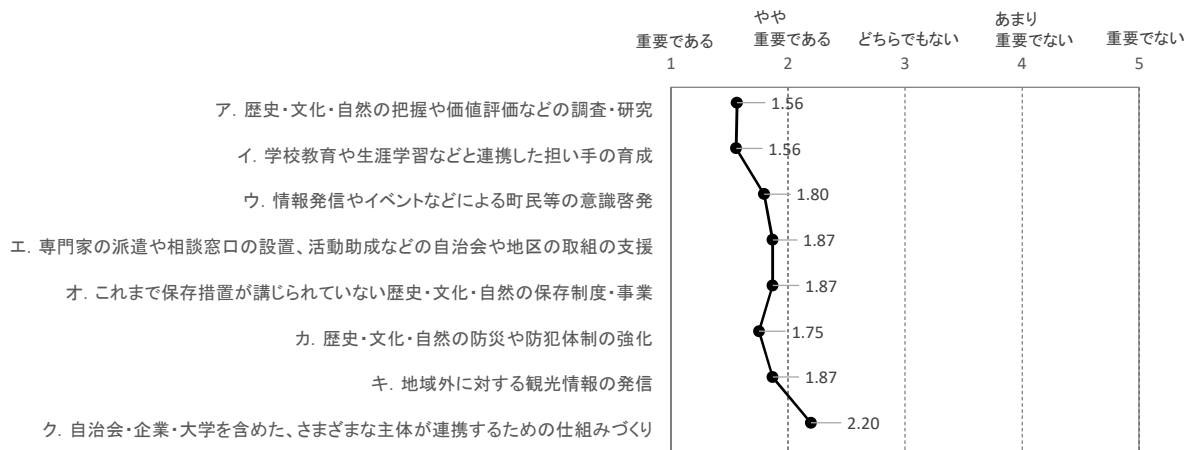
今後、歴史・文化・自然を活かしたまちづくりを進める際、新温泉町による次の各施策はどのくらい重要だと思いますか。  
施策ごとにあてはまる番号を1つずつ選んで、○をつけてください。

【回答自治会数：62自治会（98%）、無回答：1自治会（2%）】

## ● 今後の新温泉町による施策の重要度

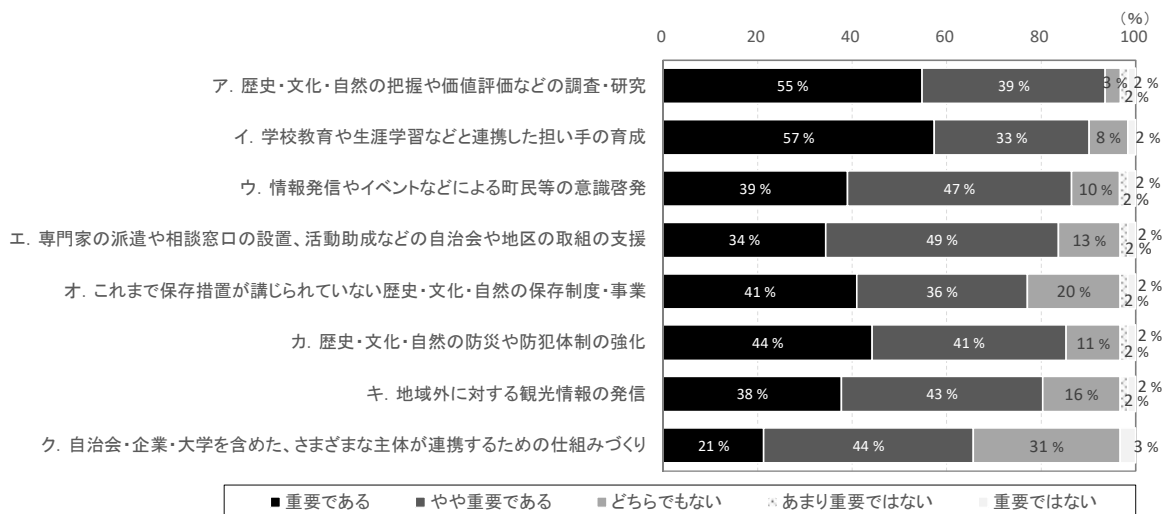
- いずれの施策の項目についても、「重要である」・「やや重要である」の回答が多くみられた。なかでも「ア. 歴史・文化・自然の把握や価値評価などの調査・研究」と「イ. 学校教育や生涯学習などと連携した担い手の育成」は、平均値\*が、いずれも1.56であり、「重要である」の回答も、それぞれ34自治会（55%）、35自治会（58%）と多い。
- 一方、「ク. 自治会・企業・大学を含めた、さまざまな主体が連携するための仕組みづくり」は平均2.20であり、他に比べて重要度が低く評価される傾向がみられる。しかし、人口減少や少子高齢化が著しいなかで、今後、各自治会の歴史・文化・自然を保存・継承していくためには、さまざまな主体間の連携体制が不可欠であり、その必要性について周知を図りながら体制づくりを進めることが求められる。（図⑤-1、図⑤-2）

※「重要である」を1、「やや重要である」を2、「どちらでもない」を3、「あまり重要でない」を4、「重要でない」を5として算出した平均値。図⑤-1の値も同様。



(n=ア：62、イ：60、ウ：59、エ：61、オ：61、カ：61、キ：61、ク：61)

図⑤-1 今後の施策の重要度の回答傾向



(n=ア：62、イ：60、ウ：59、エ：61、オ：61、カ：61、キ：61、ク：61)

図⑤-2 今後の施策の重要度（各施策の項目に対する回答状況）

設問⑥	新温泉町や自治会における歴史・文化・自然を活かしたまちづくりについて、ご意見等がございましたら、ご自由にご記入ください。
-----	--

【回答自治会数：21 自治会（33%）、「特になし」又は無回答：42 自治会（67%）】

● 新温泉町や自治会における歴史・文化・自然を活かしたまちづくりに対する意見

表⑥ 新温泉町や自治会における歴史・文化・自然を活かしたまちづくりに対する意見概要一覧

項目	自由意見の内容
体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ジオパーク、日本遺産、国立公園活動と「温泉天国」との関連を強化し、縦割り行政を止め、互いの連携を強めることが大切。</li> <li>・県立大、芸術文化観光大の協力を得ることが大切。</li> <li>・現状では人的にも資金的にも町の援助はこれ以上望めそうもないと思う。NPO か何か専属的に取り組む組織が必要ではないか。</li> <li>・北前船寄港地に関連して北海道礼文島との交流を。</li> <li>・この2年間のコロナ禍の中、縮小・中止された行事の復活は容易ではない。ちょうど、少子高齢化の波とぶつかり、それぞれの行事の存続方法が問題になってくる。新温泉町内の協力をお願いしたい。</li> <li>・集落に2軒しかない。</li> </ul>
資金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神社の建物の老朽化が進み、既に修理が必要であるが、資金不足から十分な対応ができず、今後の運営に大きな不安を抱えている。</li> <li>・戸数や人口の減少のために、区有施設（氏神、公民館、地蔵堂など）の維持・管理が経済的な負担となっている。資金繰りが難しい。区共有施設（特に区有の神社・地蔵堂）への助成・支援制度があれば少しは楽になる。</li> <li>・建物や仏像・書画は、保存・修繕・調査費用がかかる。住民の気持ち・意欲だけでは今後は難しい。</li> <li>・仏像の腕が折れたまま放置されている。何とか修繕をしたいと考えているが、資金不足である。</li> <li>・財政面での支援が必要である。</li> <li>・区民100%が氏子ではないため、政教分離の視点から、神社・お堂とのかかわりを行政のどの程度お願いできるのか不明。</li> </ul>
調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区として修復保存が必要なものか、その時期か、朽ちても仕方ないものかといった、価値などがわからない。10年スパンで調査をお願いしたい。区民の再認識にもつながる。</li> </ul>
意識啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民の関心が薄いので、啓発する機会をもつことが大切である。</li> <li>・マップの作成や町報での毎月ひとつずつ紹介など、歴史遺産や古墳等、町内で確認されているものを、町民に周知させる方法を考えてほしい。</li> <li>・新温泉町のホームページに各地区の名所・遺跡等を積極的に掲載してほしい。</li> <li>・ケーブルテレビ、YouTube等を利用し、広く紹介してほしい。</li> <li>・以前にまとめられている新温泉町内の地域別町指定文化財の一覧が各戸にあると良い。</li> <li>・新温泉町出身の歴史・文化・自然等に関わった人物の一覧表はあるのか。</li> </ul>
人材育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域文化について啓発するリーダー養成が大切。</li> <li>・啓発員の育成を図ることが大切。</li> </ul>
活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・城跡を利用した観光開発（レストラン、温泉、遊園地など）が進められると良い。</li> <li>・一度、夢ホールで各地区の盆踊り発表会を実施してほしい。各地区によって音頭も太鼓も踊りも違うので、それぞれの良さを比べてみてもらいたい。</li> <li>・ジオパークの発信を学術的なものから大胆に観光に結び付ける方向へ。</li> <li>・北前船寄港地の宣伝強化が必要。</li> </ul>
全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まずは各地区が歴史、文化、自然の魅力を発掘し、磨くことで各地区の活性化を図っていく。その後、各地区の交流・連携によって町全体の活性化へつなげていけたらと考える。</li> <li>・集落ごとに勉強会開催を促し、伝承・継承を図ることが大切である。</li> <li>・「文化財保存活用地域計画」の策定が急がれる。他市町はすでに完成しているところもある。</li> <li>・全国に名だたる名所、旧跡、文化財等は別格である。小さな集落であったとしても「ひっそり」「永々」と続けていくのが歴史であり、村の文化だと思っている。まちづくりをするためにあるのではない、人間が生きてきた歴史、文化だと考えている。</li> <li>・「温故知新」の重要さも熟知しているが、町が直面している喫緊の課題への取組が急務である。</li> <li>・まちづくりの基本は住民が生き生きと暮らし、誇りをもてる地域づくりと考える。人口減少、高齢化の現在、広げる施策より、重点を絞ることではないか。まず、ゴミのない、きれいなまちづくりが第一である。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい住宅地であり区長をおいて独立したので回答し難い。</li> </ul>